

GLOBAL LINK SINGAPORE 2016 SSH 課題研究発表報告

今年で第3回を迎えるグローバル・リンク・シンガポールへ本校からは学校代表として生物班「地域の植物の大量増殖に関する研究～エーデルワイスの葉片培養について～」（指導担当：城守先生）が参加し、1年間の研究成果を発表してきました。日本、タイ、シンガポール、インドネシア、台湾から全26校が参加し、Global Issue Link-Oral Session、Global Issue Link-Poster Session、Global Science Link-Oral Session、Global Science Link-Poster Sessionの4部門に分かれ、それぞれ成果発表を英語で行いました。本校はGlobal Science Link-Poster Session部門で発表を行い、見学者から様々な質問やアドバイスを頂くことができました。



水沢高校の生徒がポスター発表している様子



海外の高校生の発表に対して質問している様子

【Global Link Singapore 2016 研修行程】

日次	月日	地名	スケジュール
①	7/22 (金)	日本→韓国経由→シンガポール	仙台空港→インチョン国際空港→チャンギ国際空港
②	7/23 (土)	シンガポール	入国手続き、市内見学、コンテスト会場 (Yale-NUS College) の視察
③	7/24 (日)	シンガポール	講演・コンテスト・交流レセプション
④	7/25 (月)	シンガポール	レクチャー・視察
⑤	7/26 (火)	シンガポール	自主研修 (セントーサ島等)
⑥	7/27 (水)	シンガポール→韓国→日本	チャンギ国際空港→インチョン国際空港→仙台空港→水沢

－ 参加した生徒の感想 －

【ポスター発表についての感想】

- ・ 緊張感もあったが、後半は相手の目を見て、よい早さで説明することができた。質問の聞き取り・応答で語彙力のなさを痛感した。他校は実用的で面白いアイデアが多く感心した。自分たちのポスターは他校に比べて文字の羅列が多く、研究内容を簡潔に示しているとは言い難かった。よいポスターは図や矢印を効果的に使用していてわかりやすかった。
- ・ 5回くらい口頭発表するチャンスがあった。自分たちの研究に対する質疑応答はそこまで多くなかったが、他の発表に質問することができた。タイの生徒に質問したときはなかなか通じず、諦めてかえろうとしたが、何度か頑張って伝えようとして、相手に理解してもらえたときは嬉しかった。
- ・ ポスター発表では2年生から続けてきた課題研究の成果を思う存分に伝えることができた。また、日本全国の様々な学校の発表を見て、多くの学校の課題研究の成果を知ることができた。

【Global Link 研修期間中で印象に残っていることや学んだこと】

- ・ ポスターと口頭発表両方で思ったが、自信のある顔で発表していた生徒の発表はわかりやすかった。今回の研修で一番大事だと思ったことは、コミュニケーションだと思った。発表中、休憩中に初対面の人に対して意志を伝えることは普通に難しいのに、それを英語で行わなければならなかったのが刺激的だった。
- ・ 夕食の際にグループ対抗のゲームを行い、他校の生徒や海外の生徒と親しくなることができた。フージョノポリス、バイオポリスの見学では、シンガポールと日本の科学技術について学んだ。日本と比較したシンガポールの大学、所得、社会について知ることもできた。ぜひ、来年の3年生にもこのような体験をしてほしいと思った。
- ・ 台湾やシンガポール、韓国等の様々な国々の人たちと交流し、世界の多様性を学びました。

【今回の研修を今後の高校生活でどのように活かしていきたいか】

- ・ ポスターやスライドを使った発表は、大学に入ってからや社会に出てからも今以上に行う機会があるはずなので、今回の反省を全て活かせるようにしたい。コミュニケーションにおいては、自分の意見を隠さずに発信し、相手の考えも広く受け止めるということを徹底していきたい。
- ・ グローバル・リンクを通じて、日本全国のトップレベルの高校生と関わることが多く、大学受験などに向けて岩手県外の人を相手に頑張らなければという思いが強くなった。普段から英語を話すアメリカやオーストラリアの人と話すことが英語の勉強をする上で大切だと思っていたが、アジアの国の人と共通語である英語を用いて話すのもとても有意義な事だと気づくことができた。
- ・ 特に、英語でのコミュニケーションの能力の向上を図って日々努力していきたいと思う。



Certificate of Participation



参加者全員で集合写真